



〈平成29年度予算編成並びに施策に対する要望書〉



清水勇人市長に要望書の申し入れをおこなう公明党さいたま市議団(さいとう健一議員が一番左端)

公明党さいたま市議会議員団として11月4日に「平成29年度予算編成並びに施策に対する要望書」を、清水勇人さいたま市長に手渡ししました。

要望書には、さいたま市民の声を背景に、福祉や防災、子育て・教育などに重点を置いた61の施策を記載しました。

(要望項目)

1. 災害に強い都市づくり
2. 市民の健康づくりサポート
3. シニアが活躍する都市
4. 安心して住み続けられる地域
5. 女性が活躍する子育て教育都市
6. 都市を支える産業の振興
7. 住み続けたい魅力あふれる都市
8. 障がい者の自立と生活支援
9. 市民サービスの向上と行政改革



さいとう健一議員は左から二番目

要望書の詳細(61の施策)は、さいとう健一のHPに掲載しています。
<http://www.k-saito.jp/>

<9月定例会 議会報告>



9月定例会は9月7日から会期を延長して、11月4日までの59日間の会期で行いました。最終日に、公明党さいたま市議会議員団を代表して、「平成27年度さいたま市一般会計及び特別会計歳入・歳出決算の認定について」認定の討論を行いました。

【討論の要旨】

平成27年度一般会計・特別会計を合わせた決算総額は、歳入が7772億8532万5千円、歳出が7632億3424万6千円であり、歳入歳出差引額は140億5107万9千円の黒字となり、**実質収支額でも80億7473万円8千円の黒字**となっています。決算額の予算調定額に対する割合は97.4%と、**前年比0.5%上昇**し、努力されたものと評価します。

歳入の不納欠損額は、7億1780万2千円となり、**4年連続減少傾向**にあることは評価できます。今後もしも不納欠損額処分については、負担の公平性と歳入の視点から慎重かつ厳正に行う必要があります。

収入未済額は71億1211万3千円となり、**6年連続で減少**していることは評価できます。なお、滞納整理に当たっては、市民に寄り添う立場の職員であることを自覚し、適切な事務執行が遂行されることを期待するものです。

歳出においては、決算額の予算現額に対する割合は93.8%と**前年比で1.6%上昇**し、適切な事務執行に努力されたものと判断いたします。

翌年度繰越額は、予算現額に対する割合は3.3%と前年比で1.2%低下したものの、依然として地元や関係機関との調整、協議等に日数を要したため事業の着手、あるいは進捗状況に遅延が生じたことによるものが多く占めており、事前の準備において、さらに注力をし、円滑な事業の進捗を図り、計画的、効果的な執行を望みます。

また会期の延長の原因になりました、イベント担当職員の残業時間が、過労死ライン80時間を超えていることが判明し、清水市長からも「関係職員の時間外勤務については必ず縮減させたい。」との発言もありました。担当職員が無理をして事故を起こすことは絶対に避けなければなりません。**残業時間縮減は、市長の責任で改善を図られることを強く求めます。**

以上、健全な財政運営の取り組みをしてこられ、平成27年度の予算が適正に執行されたことを認め、認定の討論を行いました。

会議録は近日中に下記のさいたま市議会ホームページに掲載されます。
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/saitama/saitama.html>